

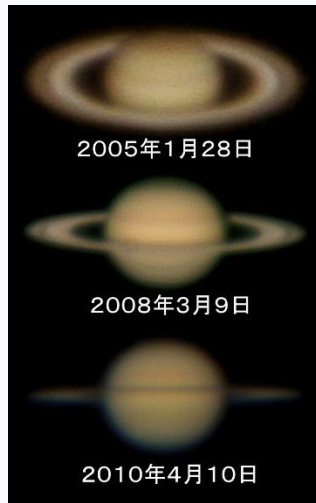


2017年の見どころ

2017年は、夏に見ごろとなる「土星」に注目！
8月8日には2年ぶりの「部分月食」もあります。

環が見やすい土星(7月～9月初めごろ)

土星を望遠鏡で見ると本体をとりまく大きな環があることがわかります。その環が見やすい時期と見にくい時期があります。2009年から2010年は、薄い環を真横から見るような状態で、「串団子」のような土星でした。それから約7年たち、2017年の土星は、約15年ぶりに環の傾きがとても大きくなり、環が見やすくなります。見ごろは7月から9月初めごろ。この夏は望遠鏡でぜひ、土星を見てみよう！



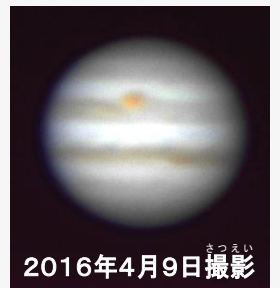
金星 (1月～2月/日没後、西の空) 金星 (4月下旬～9月/日の出前、東の空)

2017年は、1月から2月にかけて、日没後の西の空に金星がとても明るく輝いて見えます。



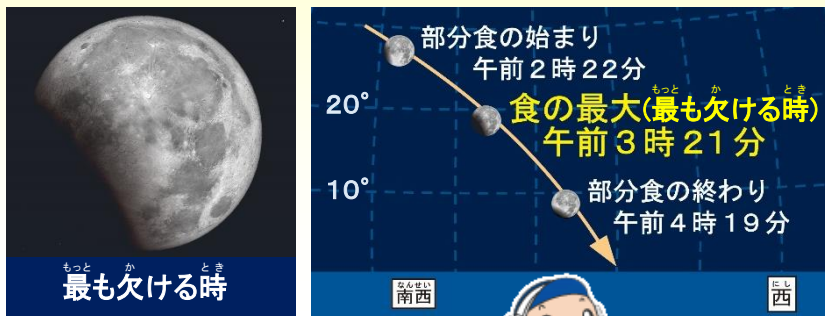
木星の見ごろ(4月～7月)

2017年は、「おとめ座」にあり、春から夏が見ごろです。望遠鏡で見ると縞模様がよく見えます。



8月8日(月) 2年ぶりの部分月食

満月の4分の1が欠けて見える部分月食が起こります。観察には望遠鏡などの道具は必要ありません。月の形が刻々と変化する様子を眺めてみましょう。夜の遅い時間帯なので必ず大人と一緒に安全に観察しましょう。



2017年の流星群

代表的な流星群は下の表のとおりです。2017年は、月明かりの影響が少なく、流れ星を見るには良い年になりそうです。

	名称	数/時	条件
1月 3日	しぶんぎ座	35	◎
8月 13日	ペルセウス	35	○
10月 21日	オリオン座	5	◎
12月 14日	ふたご座	40	○

《ポイント》★空の広い範囲を見よう！
★星がよく見える空が暗い方向を見よう！

表の【数/時】は、星がとてもよく見える場所でピーク時、1時間あたりに空全体に流れると予想される流れ星の数です。
参照：国立天文台ホームページ

星図は全てステラナビゲーターで作成。

写真は全てディスカバリーパーク焼津が撮影。



2017年も いっぱい星を見て楽しもうね！